

平成30年度 愛鳥モデル校の取り組み

○ 野鳥の巣作り(5年生理科)

5年生の理科の授業で校舎にあるチョウゲンボウのねぐらやツバメの巣を観察したり、野鳥の巣作りを行った。巣の材料は、主に枯れ草や小枝、綿等を利用した。子どもたちは材料を探して、草をしっかりと絡ませるなどの作業を行った。最後にできた巣を子どもたち同士で見せ合い、感想を言い合った。



○ 校外学習

1～4年生の校外学習や5年生の自然教室の機会を利用し、自然環境の体験等を伴う学習を行い、野鳥の住む環境を観察した。鳥の住処や姿、鳴き声など教師の方で話をしたり、子どもたちの気づきから話し合いを行ったりして、学習を深めることができた。



○ 鳥についての本のコーナーの設置・本の読み聞かせ

図書室に鳥に関する本のコーナーを設置した。また、司書教諭による読み聞かせを2年生に向けて行った。最初に子どもたちに本物の鳥の巣を見せて、「これは、何の巣かな？本で調べてみてね。」と子どもたちに興味を持たせてから「カワセミ」という本を読んで聞かせた。



○ 乙女高原学習

5年生の総合的な学習の時間において、毎年乙女高原の散策を計画している。その事前学習として子どもたちは、日下部小学校の植原彰教頭先生を講師として招き、乙女高原の自然や生き物について学習した。乙女高原に向かっていた体験学習は、悪天候のため残念ながら中止とした。



○ 野鳥の観察

平成30年度も4～6年生の9名による自然観察クラブが野鳥の観察を行った。校庭やが学校周辺をまわり、シジュウカラやヤマガラ等の野鳥を観察できた。

山梨市立笛川小学校